

・平成24年9月14日(金)開催分

4 世界記憶遺産活用・PR事業		票数	提言内容
1 拡充		3	
(1) 対象の拡大		0	
(2) 事業の手法、内容の拡充		3	<ul style="list-style-type: none"> ・「現行どおり」となっているが、日本全国の優位にあるので、後世に残るような活用をするためには、コスト高になっても仕方ないのでは(保存・修復)。 ・炭坑記録画とその他の遺産・記録とを関連させながら、双方の保存・活用を進める具体案を提示する。 ・市外への情報提供を強化する。情報提供先の選択を具体的に示す。 ・他課との連携と分担を具体的に示す。 ・田川独自の資産を活用して、市民の地域への愛着を増し、地域活性化につながっていく可能性のある事業であり、効果的な取組を期待したい。しかしながら、H23年度報告書にあげられた事業等について優先順位付けを行い、戦略的、計画的に事業に取り組んでいくことが肝要。経済効果への過度な期待ができない。目に見えない経済価値に表れない部分の効果をより強く打ち出し、市民の理解を得ていくべき。 ・財政面に大きな負荷がかかることについて、市民にしっかり説明し、理解を得ていく必要がある。 ・民間活力の活用も含め、財源確保にあらゆる努力を行うことが必要である。 ・世界記憶遺産としての整備(受入れ、インフラ)を整えた上で、田川の一資源として活用し、他観光資源として上手く活用するべきであると思う。体制を早急に整えてほしい。
(3) 事業費の拡充		0	
(4) その他		0	
2 見直し		3	
(1) 事業の一部廃止		0	
(2) 事業内容、手法の見直し		3	
① 民間委託実施・拡大		0	
② 指定管理者制度の導入		0	
③ 自主財源確保(受益者負担等)		0	
④ 対象の見直し		0	
⑤ 手段の追加、改善		3	<ul style="list-style-type: none"> ・観光、経済効果、県大との連携を蜜にし、さらなる発展をしなければならない。 ・集客に対するPR隊(全国に)への民間活用。 ・炭坑記録画とその他の遺産・記録とを関連させながら、双方の保存・活用を進める具体策を提示する。 ・市外への情報提供を強化する。情報提供先の選択を具体化に行う。 ・他課との連携と分担を具体的に示す。 ・今後、活用・PRにあたって、従来とは違った手法もあるのではないか。特に保存方法については対策が急務。山本作兵衛コレクションだけでなく、他の炭坑遺産もあわせて取り組むべき。
⑥ 設定目標の見直し		0	
⑦ 実施期間の短縮		0	
⑧ その他		0	
3 廃止		0	
(1) 手段が目的化している		0	
(2) 達成手段として不適當		0	
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		0	
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		0	
(5) 行政の役割終了、民間実施		0	
(6) その他		0	

(その他コメント)

・田川広域観光協会などと協力してうまく活用してほしい。

・保存、インフラのコストのリスクを踏まえ、補助金の獲得、経済効果を発揮できるような早急かつ計画的な対応を。

・事業費については、今後十分に検討していただきたい。

・シティプロモーション事業と密接に連携して取り組んでいく必要がある。